

平成 29 年度 第 2 回浦安市文化財審議会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成 29 年 7 月 19 日（水） 午前 10 時～11 時 45 分
- 2 開催場所 郷土博物館 視聴覚室、企画展示室
- 3 出席者
（委員）菊池眞太郎委員長、大塚三枝子副委員長、吉田敦委員、明保治男委員、
 穎原澄子委員、大村洋子委員、森田信雄委員
（事務局）花田生涯学習部次長、指田館長、島村、尾上（記録）
（傍聴人）なし

4 議 事

議事

- (1) 企画展「東京湾のイカ網漁」の開催結果報告
- (2) 秋季企画展の進捗状況
- (3) 「もっと知りたいふるさと浦安展」（準備中）の視察及び意見聴取
「ふるさと浦安作品展」の開催について

5 会議経過

会議に先立ち、教育委員会を代表して花田生涯学習部次長があいさつを行った。
引き続き菊池委員長があいさつを行った。

（1）企画展「東京湾のイカ網漁」の開催結果報告

配布資料に基づき、事務局より説明した。
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- （委員） 浦安最後のイカ網漁師さんがお話しする講座に参加した知人がいて、とても盛況だったとの話を聞いた。
- （委員） 前回、委員長がマスコミ対応の話をしたが、すぐにこれだけ宣伝していただき、よく行っていただけたな、と思った。今回の成果発表は、冊子も残っていることから、日本の漁撈史の中に、うまく位置づけられたのではないか。10 年後・20 年後と、将来続く研究があったとき、今回の成果が引用されることになるだろうから、すごくよかったと思う。講座にも参加したが、漁業関係者の方が、とてもうれしそうだった。
- （委員） 地味なテーマと思いながら、あぶりだした成果を思うと、研究というものの大事さを痛感した。今更ながら、地味なテーマを鮮やかなものにする、学芸員の仕事について感動を覚えた。改めて、元漁師の情報ははじめ、浦安の歴史を掘り起こすには現在がデットラインであることを痛感した。当代島の歴史で、きれいに総括したものを聴くことができたのは今まで一人だけ。人権擁護委員と一緒にやっていた、法政大学の経営史の先生だった方。歴史の掘り起こしを考える上で、ぜひ当たっていただきたいと思う。浦安の歴史を学術的な目で把握されている。
- （委員長） この方について把握しているのか。
- （事務局） 存じ上げていない。

- (委員長) 違った切り口の情報をいただけるような気がする。追々アプローチを心掛けていただければ、と思う。
- (委員) イカ網漁だけで、日本全国まで情報を広げたことに驚いた。とてもいい展示会であったと思う。また大変感心したのは2冊の報告書を出されたこと。調査は何年くらいかかったのか。
- (事務局) 情報は、開館前から集めていた。
- (委員) 継続力は大切だと思う。資料を作った人、集めた人などにもボランティアとしてお手伝いいただくことは非常に有効だと思っている。ただし継続はボランティアだけではなかなか難しい。学芸員の方々の促しみみたいなものもあったと思う。こうしたノウハウを活用して、第2弾、第3弾ができれば、さらに素晴らしい資料になると思う。
- (委員) イカについて、これだけクローズアップしていただいて、学ぶことが多かった。当時、関わった方が、当時の暮らしに光を当てていただくことはとてもうれしいことである。アオギスもイカもそうだが、浦安の歴史の中で、海との関わりは外すことができないものである。もう一つ、大きなものとして貝の問題がある。全面放棄で埋立てが進んだことは、浦安にとって非常に大きな転機であった。
- (委員長) 浦安の様々なことを掘り起こしていくという、地道な努力をこれからも継続していただきたい。マスコミ対応についても、今回限りでなく、今回を契機に、さらなる努力をと思っている。イカ漁だけでこれだけの展覧会ができたということは、全国でも知られたと思う。継続的に情報を取りまとめて、何らかの形で提供できれば、今回の成果がより伝わるのではないかと思う。

(2) 秋季企画展の進捗状況

事務局より説明した。

主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員長) サイズは大きくないのか。
- (事務局) 大4ツ切り(279mm×356mm)で納品されている。昭和33年頃からの写真である。
- (委員長) 図録などは作るのか。
- (事務局) 予算化はしていて、作る方向で計画している。
- (委員) 展示する写真は、郷土博物館、市が所有しているものか。
- (事務局) 市で所有している写真である。
- (委員) 広報課とか生涯学習課で所有している写真はあるのか。堀江、つどいのひろば、旧医院の2階に、かつて展示会で使用されたと思われる写真があったように覚えている。
- (事務局) 今回は市で購入した150点の中から展示を行う。
- (委員長) 秋の企画展を楽しみしている。

(3) 「もっと知りたいふるさと浦安展」(準備中)の視察及び意見聴取、「ふるさと浦安作品展」の開催について

配布資料をもとに、事務局より説明した。

主な質疑・応答については、下記のとおり。

(委員) 学校によって出展数が違うが、点数が多い学校や教員を表彰するなど行くと出展数が増えるのではないか。出ない学校を非難するのではなく、多く出た学校を褒めるという手法である。

(委員) 関わった教員に、出展作品の評価を伝えることは大事であると思った。学校の教員に声をかけていければと思う。

(委員長) 継続していく上で、非常に重要なことだと思う。

この後、7月21日(金)から始まる展示会を視察した。

展示されている資料や作品についての個別の質問のほか、音などを利用して、2階に来館者を誘導できないか、との意見があった。

その他

■ 次回の会議

第3回浦安市文化財審議会は、11月15日(水)を予定。

以上をもって、平成29年度第2回浦安市文化財審議会は、閉会した。